

大口よしのり通信

大口よしのりホームページhttp://www.oguchi.gr.jp/

民主 | 自 淨 能 力 示 及 な せ
総 理 ら の 資 金 疑 惑 を 追 明 せ
不 透 け な せ

政治とカネ 新たな改革案を提案



政治とカネの問題で再発防止にむけた改革案を提案する大口議員＝2月12日 衆議院

衆議院予算委員会は2月12日、「鳩山内閣の政治姿勢」についての集中審議を行いました。大口よしのり衆院議員は、鳩山総理や小沢幹事長らの“政治とカネ”的問題について、「庶民感覚では考えられない」と糾弾。再発防止に向けた改革案などを提案しました。

大口議員は、総理が過去の発言を翻し自らの事件で、「不正な利得を受けたことはない」と釈明している点に触れ、国民は大変失望し政治不信が募っていると強調。

さらに2003年、民主党と自由党の合併時、自由党が解党する時、政党交付金を政治資金団体に寄附して、残高の返納を逃れていた問題に触れ、公明党などが提出した解党時の“返納逃れ”を禁じる政党助成法改正案について見解を求めました。これに対し総理は「見直しは十分にあり得る」と前向きな考えを示しました。

また、「政治とカネ」問題の再発防止策として、①会計責任者に対する議員の監督責任を強化、②政團体代表者の収支報告書への署名・捺印、③企業・団体献金の全面禁止、④政党交付金の“返納逃れ”禁止、⑤“渡し切り”禁止一の改革案を提案。

このほか大口議員は、国会議員歳費の月割り支給を原則日割りに改めるとともに、歳費自体の削減も提案。総理は「民主党としても真剣に考えるべきテーマだ」と述べました。

【現役職】《衆議院》法務委員会理事、予算委員 《党内役職》中央幹事、総合企画室長、国会対策副委員長、静岡県本部代表、東海道方面協議会議長、東海方面副議長、マンション問題議員懇話会幹事長、政調法務部会長、農林水産副部会長、内閣副部会長、外交・安全保障副部会長、農林漁業活性化推進本部事務局長、憲法調査会事務局長、政治改革本部副本部長、行政改革推進本部事務局長、貧困と格差問題に関するプロジェクトチーム座長 《議員連盟》中部日本横断自動車道推進議員連盟・副会長



ケア付き住宅の整備について質問する
大口議員＝二月二十五日 衆議院

25日の第8分科会で、公明党の大口善徳氏は、24日に公明党が「新・介護公明ビジョン」を発表したことについて、「高齢者が安心して暮らせる環境づくりが重要」と指摘。同じジョンで示したケア付き住宅や医療・介護などの拠点整備を進める求めた。

前原誠司国土交通相は、国交省の住宅局長と厚生労働省の老健局長が連携して事業を進める準備をしていると

ケア付き住宅整備急げ

大口氏 駅ホーム柵の設置促進も

26日の第3分科会で、公明党の大口善徳氏は、公訴時効の廃止・延長について質問した。大口氏は、改正法成

立前に時効が未成立の事件にもさかのぼって適用するとした法制審議会(法相の諮問機関)の答申に対し、刑罰不適用の原則を示した憲法第39条に違反するとの見解を求めた。これに対し、千葉県子法相は、「(事件後に)刑罰法規を作つて処罰の対象にすること」との認識を示し、公訴時効の廃止・延長は憲法には違反しないとの見解を示した。

高速道のり面に耐震基準検討

国交相「指針改定も」

前原誠司国土交通相は25日、国が定める高速道路のり面や斜面の設計施工指針について、「昨年の駿河湾の地震で得られた最新の知見を反映させること」などと述べ、耐震

基準の策定を視野に入れた指針改定を検討していることを明かした。同時に、同地震で崩れた東名高速の事故現場と地形的に類似する危険箇所が全

国に高速道路で2700カ所、直轄国道で200

カ所に上っていること

も判明した。衆院予算委員会分科会で公明党の大口善徳氏(比例東海)の質問に答えた。

同地震では牧之原市の

東名高速上り線が崩落。

よる検討委員会で指摘さ

れています。
科会答弁

危険箇所については、が、前原氏は国としても高速道路管理会社6社が地震後、事故現場と類似する地点の机上抽出調査を行っていた。各社は既述べた。

に現地調査を進めているが、前原氏は国としても各社に技術的な支援をしていく方針を示し、「早期に対策を講じたい」と述べた。

静岡新聞でも
報道されました

前原誠司国土交通相は25日、国が定める高速道路のり面や斜面の設計施工指針について、「昨年の駿河湾の地震で得られた最新の知見を反映させること」などと述べ、耐震

基準の策定を視野に入れた指針改定を検討していることを明かした。同時に、同地震で崩れた東名高速の事故現場と地形的に類似する危険箇所が全

国に高速道路で2700

カ所に上っていること

も判明した。衆院予算委員会分科会で公明党の大口善徳氏(比例東海)の質問に答えた。

同地震では牧之原市の

東名高速上り線が崩落。

よる検討委員会で指摘さ

れています。
科会答弁

危険箇所については、が、前原氏は国としても高速道路管理会社6社が地震後、事故現場と類似する地点の机上抽出調査を行っていた。各社は既述べた。

に現地調査を進めているが、前原氏は国としても各社に技術的な支援をしていく方針を示し、「早期に対策を講じたい」と述べた。

衆議院予算委員会第8分科会(国土交通省関連)でのQ&A

■高速道路の地震対策について

問	昨年8月11日の地震により崩落した東名・牧之原地区の本格復旧工事の進捗状況と完成時期の見通しは?
答	(金井道路局長)梅雨の前までに本格復旧を終える。
問	今回崩落した箇所と類似する箇所は、高速道路と直轄国道でそれぞれどれくらいあるか?
答	(金井道路局長)高速道路で約2700箇所、直轄国道で約2000箇所ある。
問	「道路土工 のり面工・斜面安定工指針」の見直しはするのか?
答	(前原大臣)今回の被災体験により得られた知見も取り入れ見直しを進めていく。
問	東名高速道路は日本の大動脈である。現東名高速道路の代替機能確保のために、新東名高速道路および中部横断道自動車道の整備促進が必要と考えるが、大臣の考え方如何?
答	(前原大臣)必要な事業をできるだけ効率的にできるよう検討をしていく。
問	必要な高速道路の整備、長寿命化、耐震強化には財源が必要である。高速道路無料化との関係を大臣はどう考えているのか?
答	(前原大臣)高速道路会社だけで維持管理費が年間1700億円かかる。有利子負債が35兆円ある。今回無料化の社会実験を通じて、渋滞、環境負荷、利便性、経済効果等を精査し、きちんと結論を出していきたい。

■駅ホームの防護柵設置について

問	昨年3月30日、公明党国土交通部会は、当時の金子国交大臣に対し、交通バリアフリーの早期整備と鉄道ホーム防護さく、ホームドア設置推進を要請したが、最近の駅のホームからの転落事故数と、状況について伺いたい。
答	(本田鉄道局長)ホームから転落し列車等と接触した人身障害事故が平成17年度から平成20年度で223件。ホームには転落しないものの、ホーム上で列車等と接触した人身障害事故は494件。合計717件(内、障害者は7件)発生している。また、人身障害事故の9割が、一日当たりの平均的な利用者数5千人以上の駅で発生している。さらに、自殺を原因とした輸送障害、運休あるいは30分以上の遅延は、平成20年度で647件発生している。
問	ホームドア、可動式ホームさくの整備状況は?
答	(本田鉄道局長)一日あたりの平均的な利用者数が5千人以上の駅で、ホームドア、可動式ホームさくの設置は307駅、10. 9%である。
問	10. 9%と低いのは、補助率が3分の1と低いからではないか。予算措置を含め大臣の見解を伺いたい。
答	(前原大臣)安全は何物にもかえがたいので、鉄道事業者にもまずは現行の制度を使って整備をしていくだくように働きかけていく。

■ケア付き住宅について

問	2月24日に公明党が提出した「新・介護公明ビジョン」で、公共の住宅や空き学校などを活用してケアつきの高齢者住宅の大幅拡充を求た。さらに、公的賃貸住宅の建て替え時に、医療、介護、生活支援などの機能を備えた多機能支援センターの整備拡充を求めるが、大臣の考え方如何。
答	(前原大臣)いまご指摘いただいた点は大変重要で、現在、国交省の住宅局長と厚労省の老健局長が連携して事業を進める準備をしている。

2010年1月24日 ハイチ大地震被災者救援募金

公明党静岡県本部(代表=大口よしのり衆議院議員)は1月24日、「沼津市ハイチ大地震被災者救援の会」(田村清二代表)とともに、買い物客らでにぎわうJR沼津駅南口で募金活動を行いました。

大口氏らは、ハイチ大地震の被災者の窮状を訴え、「負傷者の治療や復興を進めるためには、医薬品や生活物資が必要だ。皆様の温かいご支援をお願いします」と、募金への協力を呼び掛けました。



2010年2月1日 脳脊髄液減少症で厚労省へ要望

公明党の脳脊髄液減少症対策ワーキングチーム(渡辺孝男座長=参議院議員)と患者・家族の支援団体は2月1日、厚生労働省で植田博三健康局長に対し、長妻昭厚生労働大臣に宛てた脳脊髄液減少症の診断・治療の確立に関する要望書を手渡しました。これには、大口議員も同席しました。

席上、渡辺氏らは、①診断基準を今年度中に確立、②来年度中の診療指針の策定と、ブラッドパッチ療法の保険適用などを要望しました。



2010年2月1日 山口代表一政治家は奉仕する職業

山口代表は2月1日、浜松市で行われ公明党静岡県本部主催の新春の集いに出席し、政治家のるべき姿を「市民のために生活をなげうつて奉仕する職業だ」と強調。「公明党議員こそ、その第一人者でありたい」と力説しました。

これには大口県代表のほか、浜田まさよし参院議員(参院選予定候補=比例区)、また来賓として、川勝平太静岡県知事、鈴木康友浜松市長ら多数の方々に出席していただきました。



2010年2月28日 「新・介護公明ビジョン」を訴える

大口議員は2月28日、静岡市内で街頭遊説を行い、全国3000人を超える議員で実施した介護総点検を基に作成した「新・介護公明ビジョン」に対し、首相が強い関心を寄せたことにふれました。また、政治とカネの問題については、依然として十分な説明責任が果たされていないと、首相や民主党幹部を批判しました。

